

第3章：モデル授業案 4 働くときの契約に必要なことは？

ねらい

労働契約について、生徒にとって身近な携帯電話の契約を思い起こしながら、その必要な項目について考えさせ、理解させる

授業の展開

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	内容	留意点・備考
0:00 (5分) 導入	○生徒に問いかけ ・授業者「携帯電話やスマホを持っている人は、契約はどうか覚えてる？ 自分だけで店に行った？ 親が店に行った？ それとも親と一緒にいった？」	生徒をグループに分けておく
0:05 (10分) 思考：携帯電話の契約	○生徒に問いかけ ・授業者「携帯電話やスマホを契約するとき、どんなことを決めてるか知ってる？」 ・問いかけをした後、生徒に意見を発表させる <例> 本体代金、通話料金やパケット料金(定額制か否か)、契約期間、オプション、解約の条件(2年間のうちに解約すると手数料が必要等)、等 ※契約のための紙をもらったか、サインしたかなどについても生徒に聞いてみるとよい ○次のステップへのつなぎ ・契約にもいろいろあるが、他にどんな契約があるか？「労働(仕事)」という言葉が生徒から出ない場合は授業者から出し、労働契約があることを説明	携帯電話の契約内容が分かるものを用意できれば、それを生徒に示しながら考えさせてもよい
0:15 (15分) 話し合い：働くときの条件(グループで)	○グループでの話し合い ・携帯電話の契約内容をヒントに、働くときに事前にどんなことを決めておかないといけないのか(決めた方がいいのか)話し合う ○発表 ・グループごとに発表する	
0:30 (15分) 学習：モデル労働条件通知書の提示と確認	○確認 ・各グループで、モデル労働条件通知書の提示を参考に、自分達が考えた項目と比べる ・クラス全体で、発表で出てきた項目とも比べる →法律が労働契約に求めている重要な事項を理解させる ○説明 ・労働条件通知書の項目を授業者と生徒で確認(簡単に、お金や労働時間に関することを中心に) ・(法律上)最低限確認しなくてはならない事項として労働条件通知書があることを理解させる ・口約束では後で分からなくなってしまうので、必ず書面やメールでもらうべきことも付言(例えば後で「通勤手当を払う」と言った言わないといった状況になったら困るでしょ？ などと口約束で失敗しそうな例を挙げて説明)	リーフレット「アルバイトをする前に知っておきたい7つのポイント」 「モデル労働条件通知書」を用意 ※生徒と授業者が一緒に学ぶ感じでよい
0:45 (5分) まとめと振り返り	○生徒に授業で学んだことの整理と感想をまとめさせる	各自記述して提出

ワークシート

年 月 日 年 組 名前：

1. 私たちは携帯電話やスマホを通信会社と契約する時に、何を決めているんだろう？

2. 携帯電話やスマホを契約する時に決めていることをヒントに、働く前に雇う側と決めておいた方がいいことは何だろう？

3. モデル「労働条件通知書」を見て、「2.」で考えたことで足りなかった部分はあるだろうか？

1章

2章

3章

4

4章

5章

6章

7章

8章

ワークシートの解答例

年 月 日 年 組 名前：

1. 私たちは携帯電話やスマホを通信会社と契約する時に、何を決めているんだろう？

携帯機器(本体)の料金
月々の通信料金 パケット代金 ○○放題の場合はその時間数やギガ数
オプションの種類や料金
解約の条件や違約金

2. 携帯電話やスマホを契約する時に決めていることをヒントに、働く前に雇う側と決めておいた方がいいことは何だろう？

給料の金額
仕事の内容
勤務時間
休みのこと
クビのこと

3. モデル「労働条件通知書」を見て、「2.」で考えたことで足りなかった部分はあるだろうか？

生徒自身で気づいた事を記入する

確かめよう!
労働条件。



「アルバイトの労働条件を確かめよう!」
キャラクター「たしかめたん」